

拝啓 向暑の候

京都東山の新緑も一段と深みを増し、コロナ禍も漸く収束の兆しも見え観光客も日増しに増えてきております。

此度「第七十一回光陽展京都準本展」を七月四日より「京都市京セラ美術館」で開催することになりました。

開催にあたり、選抜された貴方様の作品を展示できることに心より感謝申し上げます。ここにこの招待状、出品目録を添えてご案内申し上げます。

この二年間のコロナ禍の影響で観光地京都も疲弊し老舗の料亭や居酒屋の一部が姿を消したところもあります。京都準本展はこの三年間休会もなく開催してきましたが、来場者数もその影響下で未だ回復までに至っていません。コロナ禍以前は外人観光客や中国の美術学生の団体等の来場で会場内の賑わいも観られました。春先より京都観光客も増えてきており、入館者の増加を期待しております。

今回は昨年より若干減少したものの、一四六点の作品を展示することになりました。高い空間の自然採光の会場で、あらためて自作品と対面話していただければと願っております。

観覧者に興味ある作品展示に毎回試行を重ねており、ご観覧の上ご意見賜れば幸いです。

ここ岡崎公園界限には京都市国立美術館、京都市美術館別館、細見美術館、神社仏閣の観光地も隣接しており、ご来場を心よりお待ちしております。

敬具

令和五年六月吉日

光陽展京都準本展実行委員会

委員長 小森慎三

※追加ご希望の方は遠慮なく申し出てください